施工説明書

TOTO

アクアオート　サーモスタット混合栓

TEL121A型
TEL121AW型
TEL122A型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

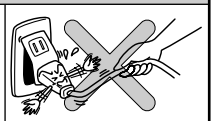
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

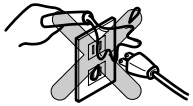
⚠ 警　告

禁止

AC100Vタイプ
ガタついているコンセントは使わない
火災や感電の原因になります。

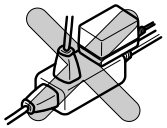


AC100Vタイプ
電源プラグや機能部に水をかけない
火災や感電の原因になります。



AC100Vタイプ
指定する電源（AC100V）以外では使用しない
火災の原因になります。

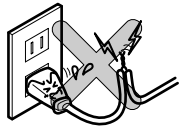
AC100Vタイプ
コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



⚠ 警　告

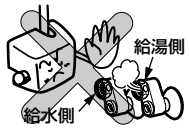
禁止

AC100Vタイプ
電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



AC100Vタイプ
電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない
火災や感電の原因になります。

湯水を逆に配管しない
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

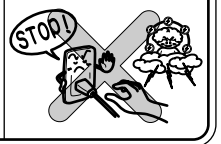


給湯温度は85℃より高温で使用しない
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

接触禁止

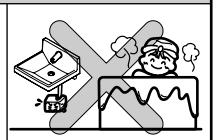
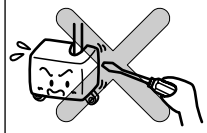
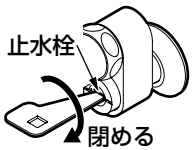
AC100Vタイプ
ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

AC100Vタイプ
雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因になります。

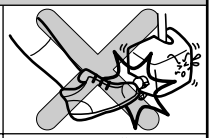
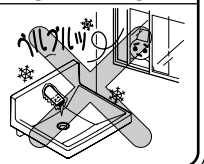


1-2

⚠ 警　告

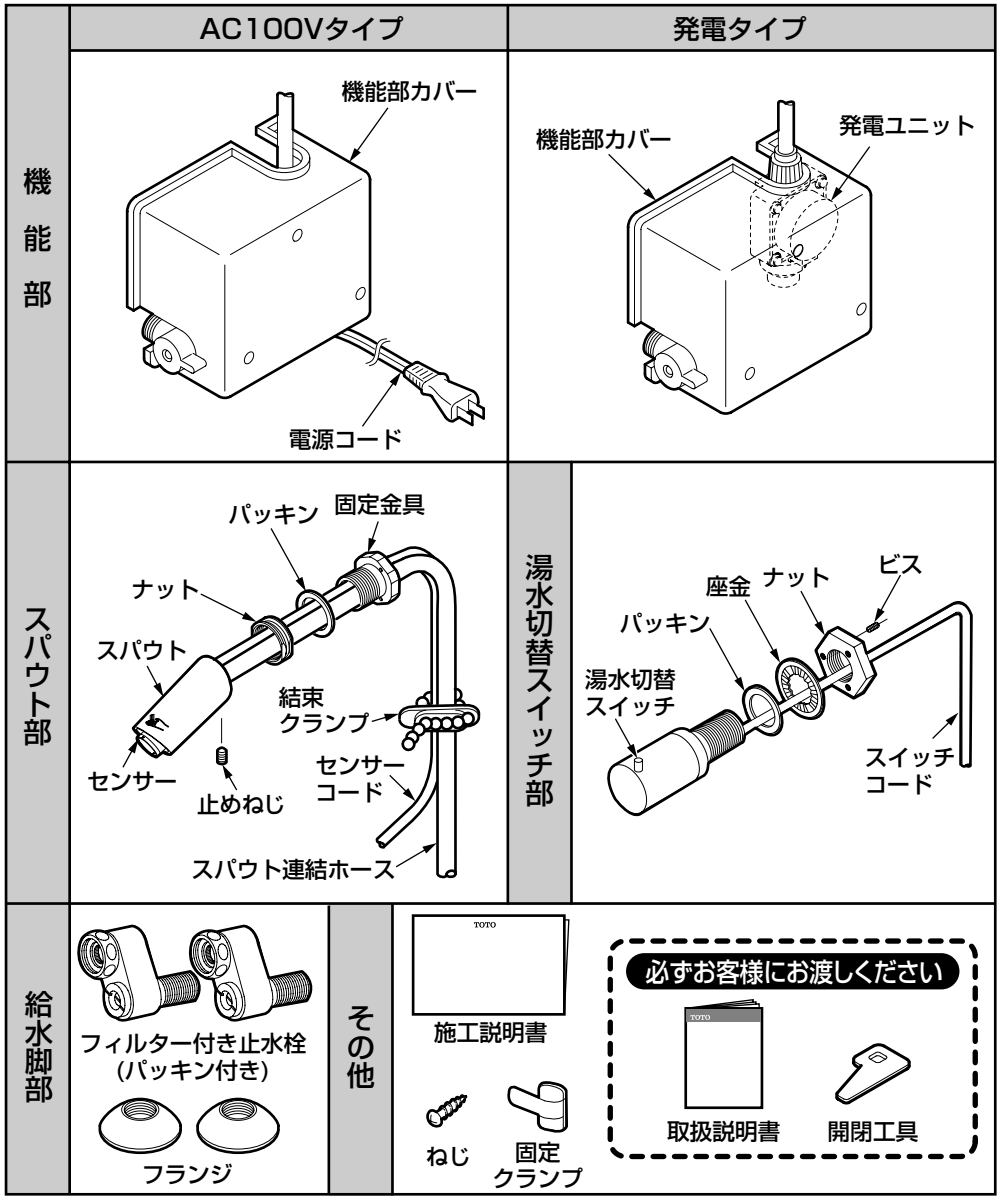
水場使用禁止	**浴室など湿気の多い場所には設置しない** 故障や感電の原因になります。	
分解禁止	**分解したり、修理・改造は絶対に行わない** 火災や感電の原因になります。	
必ず実行	AC100Vタイプ **電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く** コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。	
	AC100Vタイプ **電源プラグは根元まで確実に差し込む** 火災や感電の原因になります。	
	フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う **また、湯側フィルター部が熱くないことを確認する** 高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 注　意

禁　止	**強い力や衝撃を与えない** 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	屋外や凍結が予想される場所に設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

3 取り付け前に

1. 給水圧力の確認

●**給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるように**してください。

●給水圧力範囲は、0.05(発電タイプは0.06)～0.75MPaです。
この圧力範囲内でご使用ください。

●給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

2. 給湯温度の確認

●誤動作などによるやけど防止のため、**60℃給湯**をおすすめします。
ただし、約50℃以上の湯は出ないようにしています。

3. 配管・配線について

●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●AC100Vタイプの場合、**電源はAC100V(50/60HZ)、最高消費電力は5W**です。
必ずこれに適した配線をしてください。

●発電タイプは電源工事不要です。

4.その他

●センサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。

●インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤動作することがあります。

●ステンレス製およびめっきを施した手洗器や洗面器にはご使用できません。(誤動作するおそれがあります)

●アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。

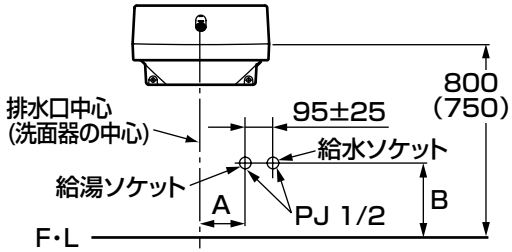
●梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

5. 給・排水取出し位置について

●洗面器の品番により取付寸法が異なります。
詳細は、下表を参考のうえ、取り付けてください。

●本商品は下記洗面器専用の自動水栓です。
他の洗面器には取り付けできません。

●取付穴径の異なる洗面器やカウンターには取り付けないでください。
商品と取付穴にすき間が発生し、取付穴から水漏れするおそれがあります。



アクアオート製品品番	取り付け可能洗面器品番	A	B	取付穴径
TEL121A型 TEL121AW型	L120D L120DM L130D L130DM	100	300 (250)	洗面器 φ29
	L520		330 (280)	カウンター φ29
TEL122A型	L120DH L120DHM L130DH L130DHM		300 (250)	洗面器 φ29
	L520		330 (280)	カウンター φ29

●上記給水・給湯高さBは洗面器あふれ面高さが800mmの時の寸法です。
（　）内の寸法は洗面器あふれ面高さが750mmの時の寸法です。
洗面器の設置高さに応じて給水・給湯高さBを変更してください。

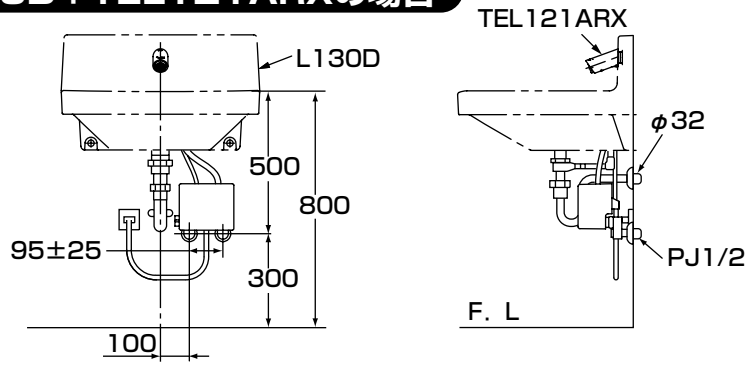
4 仕様

タイプ		AC100Vタイプ	発電タイプ
品番		TEL121A型・TEL122A型	TEL121AW型
電源電圧		AC100V 50/60Hz	ー
消費電力	待機時	0.4W（最大値3W）	
	動作時	0.6W（最大値5W）	
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)	0.06MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)	
給湯温度		60～85℃	
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度		1～40℃	
感知距離		学習方式による感知距離変化型 (セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します)	
電源コード長さ		0.75m	ー
センサーコード長さ		0.79m	
スイッチコード長さ（湯水切替タイプの場合）		0.85m	
吐水流量		3.5L/分 定流量弁内蔵 ※ハイパー泡まつタイプ 2L/分 定流量弁内蔵	
給水接続		PJ1/2	
用途		パブリックおよび一般住宅洗面所用	

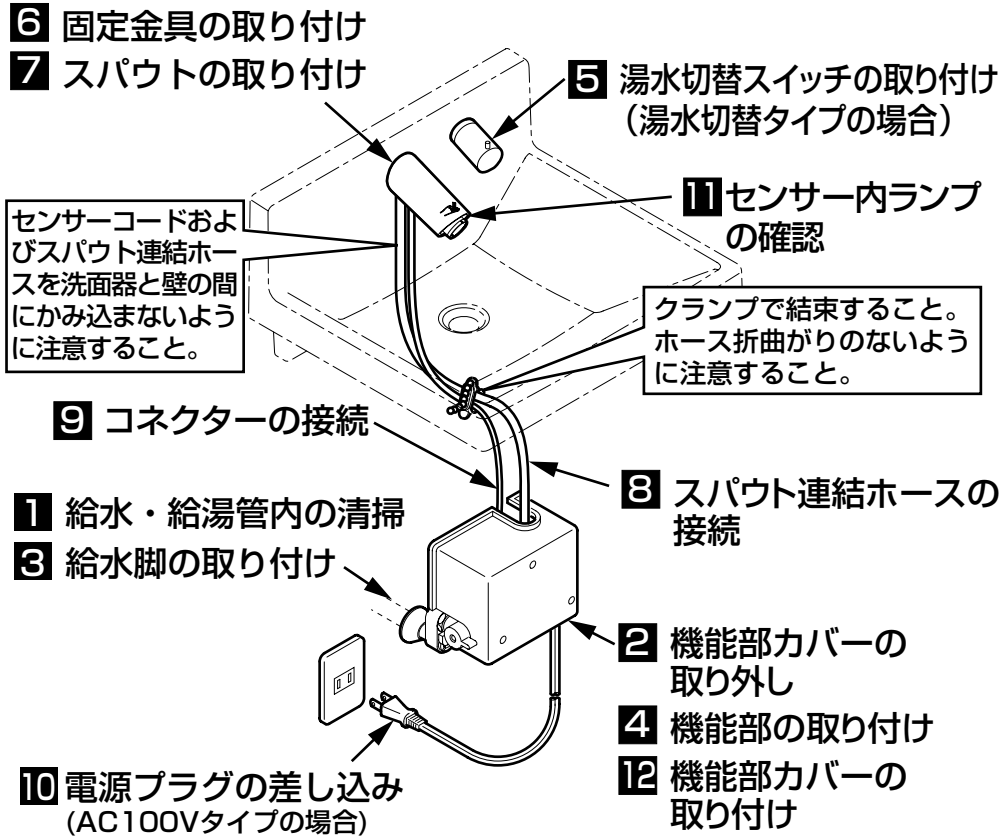
5 完成図（例）

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

L130D+TEL121ARXの場合



6-1 施工手順



注意

●クリーンドライ(温風乾燥器)などとのセットでは、クリーンドライのセンサー光が洗面器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。

1 給水・給湯管内の清掃

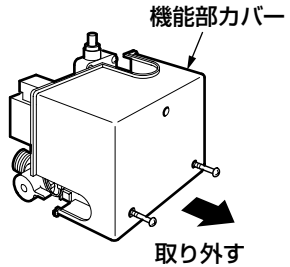
取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

裏面へつづく

2 機能部カバーの取り外し

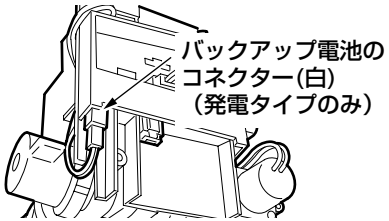
①機能部カバーを取り外す。



②発電タイプの場合、バックアップ電池のコネクター(白)を差し込む。

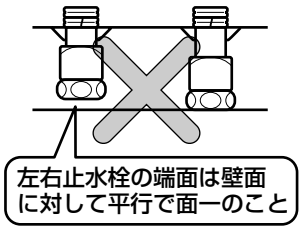
注 意

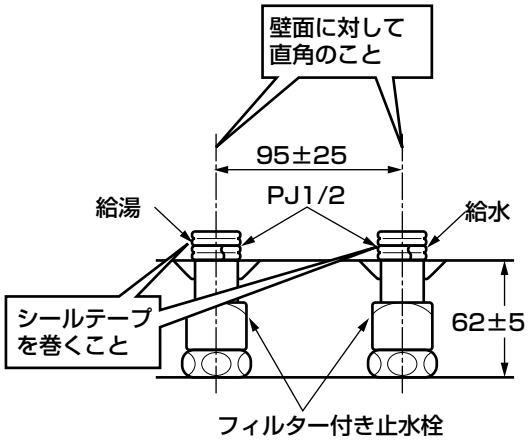
発電タイプの場合、コネクターを接続後、機能部が作動可能になるまでに約2分間かかります。



3 給水脚の取り付け

①フィルター付き止水栓を取り付ける。
(給水・給湯側)





4 機能部の取り付け

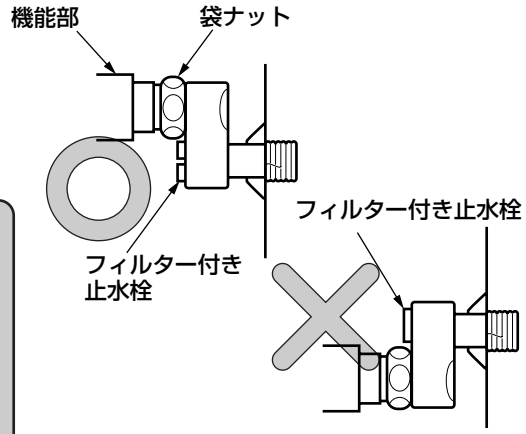
①フィルター付き止水栓の袋ナットにパッキンを取り付ける。

②機能部を取り付ける。

注 意

●パッキンを必ず取り付けてください。

●フィルター付き止水栓は機能部の接続部が上になるように取り付けてください。
下になるとフィルターの掃除、および止水栓の調節ができません。



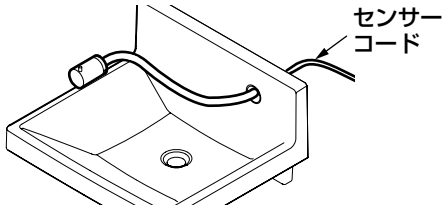
5 湯水切替スイッチの取り付け（湯水切替タイプの場合）

①湯水切替スイッチを取付穴に差し込む。

②取付穴背面側から座金を六角ナットで締め付ける。

注 意

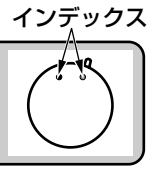
コードのかみこみに注意してください。



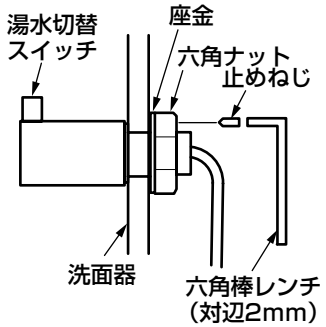
③六角棒レンチ（対辺2mm）で六角ナット内のビスを締め付ける。

注 意

インデックスのマークが上になるように取り付けてください。



④電気温水器一体型の場合は、電気温水器側の施工説明書を参照のうえ、ホース・センサーコード・湯水切替スイッチコードを接続する。



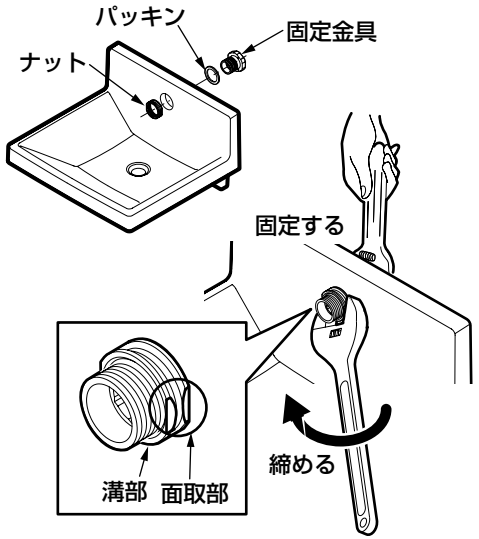
6 固定金具の取り付け

①固定金具にパッキンを取り付け、洗面器（またはカウンター）の取付穴に裏側から差し込む。
②洗面器（またはカウンター）の表面からナットを取り付け、固定金具を仮固定する。

注 意

固定金具およびナットを取付穴の中央に取り付けてください。

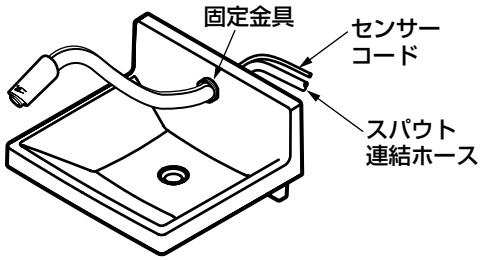
③固定金具をスパナで固定し、表面のナットをスパナで回してしっかり固定する。このとき、止めねじをナットの溝部にとめるため、ナットの面取部が縦になるまで増し締めする。

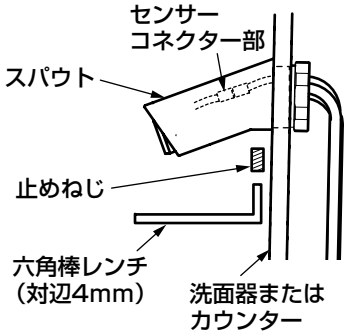


7 スパウトの取り付け

①固定金具にスパウト連結ホースとセンサーコードを通す。
②センサーコネクター部をスパウトの内側上部に奥まで収納する。
③スパウトを洗面器（またはカウンター）面に密着させ、六角棒レンチ（対辺4mm）を使用して止めねじで固定する。

スパウトが洗面器（またはカウンター）に密着しない場合は、センサーコネクターをスパウトの上側の奥まで入れてください。





壁掛洗面器に取り付ける場合

④付属の固定クランプを洗面器裏面の右図の位置に貼り付けて、センサーコード・スイッチコードおよびスパウト連結ホースを固定する。

注 意

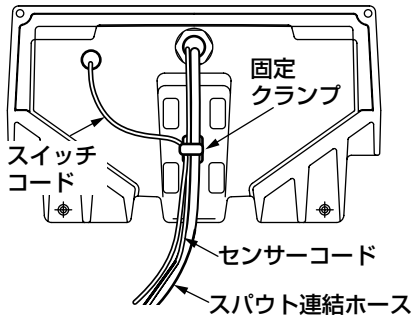
●固定クランプは貼り付け面の汚れを拭きとってから貼り付けてください。
●スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意してください。
●センサーコード・スイッチコードおよびスパウト連結ホースを洗面器裏面の凹部を通るように引き回してください。

⑤洗面器をバックハンガーに取り付け固定する。

注 意

センサーコードおよびスパウト連結ホースを洗面器と壁の間にかみ込まないよう注意してください。

⑥センサーコードおよびスパウト連結ホースのかみ込みがないか確認する。

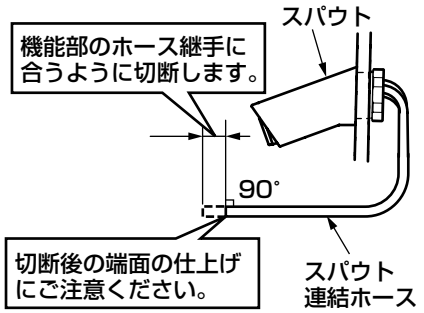


8 スパウト連結ホースの接続

①スパウト連結ホースを機能部のホース継手に合うように適切な長さに切断する。

注 意

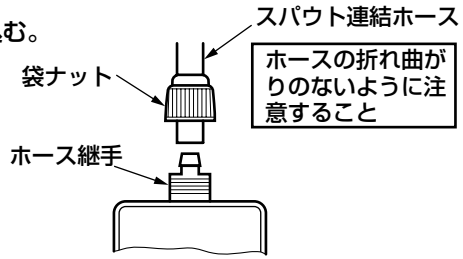
●ハサミなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
●スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。



②スパウト連結ホースに袋ナットを通す。
③スパウト連結ホースをホース継手に差し込む。
④袋ナットを **手で締め付ける。**

注 意

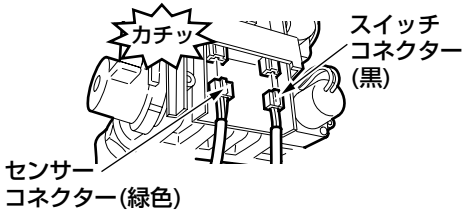
●スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
●スパウト連結ホースが折れ曲がることのないように注意してください。



9 コネクターの接続

①センサーコネクター(緑)をカチッというまで差し込む。

②湯水切替タイプの場合、スイッチコネクター(黒)をカチッというまで差し込む。

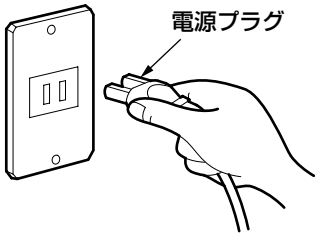


10 電源プラグの差し込み (AC100Vタイプの場合)

電源プラグをコンセントに差し込む。

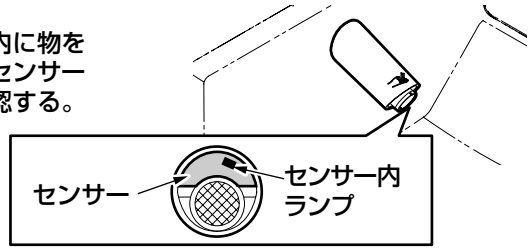
注 意

<AC100Vタイプの場合>
電源が入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します)



11 センサー内ランプの確認

センサーに手をかざしたり、洗面器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプが点滅していないことを確認する。

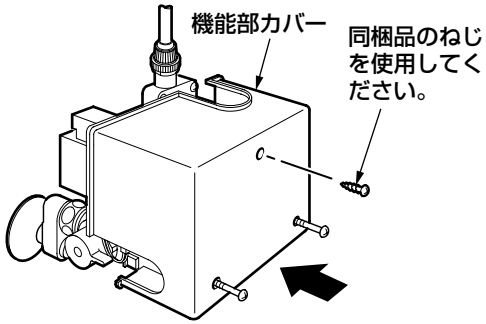


12 機能部カバーの取り付け

コネクターが確実に接続されているか確認したあと、機能部カバーを取り付ける。

注 意

- **機能部カバーは確実に取り付けてください。**
- **機能部カバーを取り付ける際は、コードのかみこみに注意してください。**



7-1 試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

①水漏れの確認

止水栓を開き、連結管やスパウト連結ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

②水を出す・止める

- 吐水口に手を近づけると水が出ます。
- 手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
- 手を約1分間連続して感知すると自動的に水は止まります。
  (センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります)
- センサー前面から約4cmの位置に開閉工具など反射しやすい物を感知させると、最大1分間水を出すことができます。
  ※洗面器内に水をためると、水の影響により感知する場合があります。

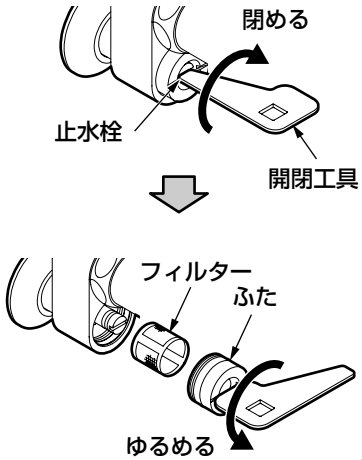
※正常に動作しない場合は、**各コネクターが確実に接続されている**か確認してください。

2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

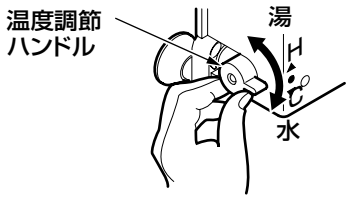
フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。
また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で**止水栓を閉めたあと、フィルターふたを外してください。**



3. 吐水温度の調節

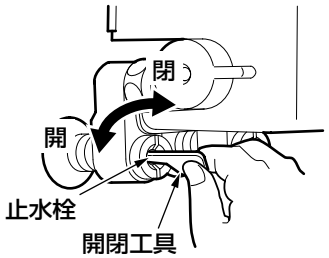
工場で適温（38℃）に温度調節をしています。
取付現場の圧力状況などによって、所定の温度にならない場合があります。
この場合は、温度調節ハンドルを手で回して温度を調節してください。



4. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁を内蔵していますので、流量の調節は不要です。
止水栓は全開 でご利用ください。

ただし、水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、付属の開閉工具で止水栓を回して、流量を調節してください。



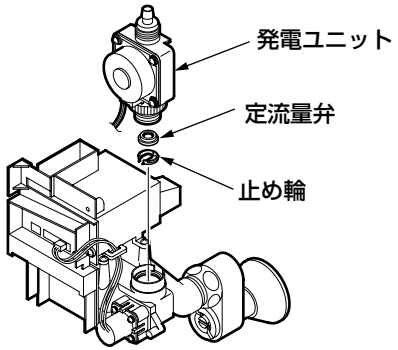
注 意

＜発電タイプの場合＞

止水栓は全開でご使用ください。
流量が少ないと十分に器具の機能が発揮されず、内部の専用のバックアップ電池が消費する場合があります。

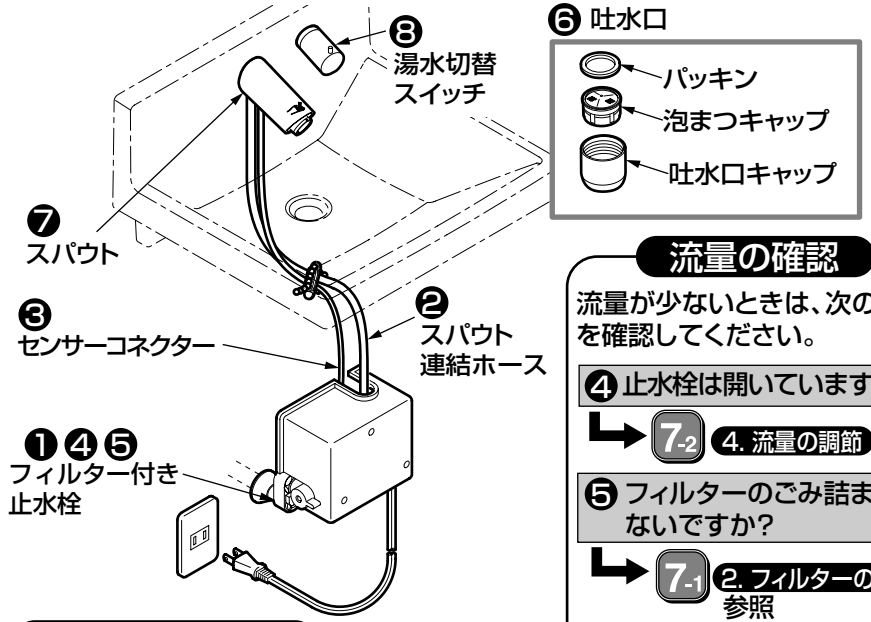
※どうしても流量を絞る必要がある場合は、必ず **3L／分以上**(10秒間で500mLのペットボトルが満水になる状態が目安です)を確保してください。
※給水圧力が低く、必要流量が得られない場合は、発電ユニットに内蔵している定流量弁と止め輪を外してください。

＜流量3L/分以上の状態＞
※10秒間で500mLのペットボトルが満水になる状態が目安です。



8 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❶ 止水栓部の水漏れはないですか？
→ 6-2 ― 3「給水脚の取り付け」参照

❷ スパウト連結ホースはしっかり接続されていますか?
→ 6-3 ― 8「スパウト連結ホースの接続」参照

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

❸ コネクターはしっかり差し込まれていますか？
→ 6-4 ― 9「コネクターの接続」参照

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

❹ 止水栓は開いていますか？
→ 7-2 4. 流量の調節 参照

❺ フィルターのごみ詰まりはないですか?
→ 7-1 2. フィルターの掃除 参照

❻ 吐水口のごみ詰まりはないですか？
→ 吐水口の掃除をする。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❼ スパウトのガタツキはないですか?
→ 6-3 ― 7「スパウトの取り付け」参照

❽ 湯水切替スイッチのガタツキはないですか?
→ 6-2 ― 5「湯水切替スイッチの取り付け」参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。